福岡女子大学

地域連携センター NEWS NO.10

福岡女子大学地域連携センターの2020年度活動内容を報告します

生涯学習カレッジ2020
「伊都国女王と卑弥呼」令和２年９月５日

ごあいさつ

理事長・学長
梶山 千里

福女大の自ら学ぶ仕掛け（教育の原点に戻る）と授業理解度の深化

1923年に開校した福岡県立女子専門学校を前身とする福岡女子大学（福女大）は2023年に100周年を迎えます。大学の基本理念「次代の女性リーダーを育成」を目標として、教育・人材育成の成果を引き継ぎ、伝統校の誇りを継続、発展し続けます。

福女大は、2011年に教育改革をスタートして以来、他大学との区別・差別の具現化である「ユニーク」を提案・実行し、福女大の教育の変革を行い、日本でトップクラスの大学、一流の女子大学となるよう、教職員・学生が一丸となって努力しています。福女大は、クォーター制（2018年から実施）により週複数回授業を実施し、さらにクイズ（抜き打ちテスト）を行うことで、学生は授業の復習習慣が身に付く、授業中の緊張感が増すなど、授業理解度の深化に結び付けられます。2019年からは「教育の原点」に戻り、トップリーダー研修など、自ら学ぶ仕掛け（学ぶ場を提供するが答は教えない）、大学の評価軸の変化に対する提案として、大学の教育レベルのランキングだけでなく、「人間の幸せ」のためのESG, SDGs[*1]に目を向け、福女大の寄与・貢献を果たします。これらは福女大の「ユニーク」と言えるでしょう。また、地域の皆様が「あそびごころと感性」で学ぶ受講生参加型の「生涯学習カレッジ」を2015年より行っており、参加者の皆様、その多くのシニアの方達にも非常に楽しんでいただいています。

地域連携センターの１年間の活動をまとめた「地域連携センターニュース」をお届けいたします。今後も地域との連携を強化し、地域社会に開かれた大学として努力してまいります。地域連携センターや本学の地域貢献活動にご関心をお持ちになりましたら、ぜひ、お気軽にお問い合わせください。2023年の創立100周年記念事業を実施し、地域の皆様と一緒に向上できることを願っております。

*1 ESG=Environment, Social, Governance: 持続可能な社会に向けた貢献となる要素
SDGs=Sustainable Development Goals: 国連が決めた持続可能な開発目標（2016 ～ 2030年）

地域連携センターの新たなチャレンジへ

コロナ禍のなか、生涯学習カレッジをはじめ、様々な活動において、時期変更、人数制限などのプログラムの修正を加える形となり、ご迷惑をお掛けすることとなりました。このような状況下においても、熱心にご参加頂きました皆様に心より感謝申し上げます。参加者の熱意は、主催側にとっても大きな励みになりました。また、開催にご尽力頂いた全ての関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

全世界が「新型コロナウイルス」に振り回された一年となりました。当初は予想もしなかった緊急事態宣言により、社会活動が大きなダメージを受け、本学においても構内への入構禁止、オンライン授業の導入、職員の在宅勤務など様々な制限下で過ごすことになりました。現在でも、毎日感染者の数が報告され、暗いニュースが多い状況です。しかしながら、地域連携センターでは、「この状況に打ち勝ち、新たなチャレンジを行うこと」が地域連携センターの使命であると前向きに捉え、より充実した活動が行えるようにしっかりと準備いたします。今後も、本学へのご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

地域連携センター長　国際文理学部　食・健康学科　教授
石川　洋哉

もっと地域に親しまれる大学を目指して

本年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、地域交流活動も大きく制限されました。しかし、そのような状況下でも「香住っ子ひろば」活動への参加、「高校生のためのイングリッシュ・キャンプ」の開催、「香住ヶ丘音頭選考会」に参加するなど、学生・教職員による多様な社会・地域連携活動を行ってきました。今後も新型コロナウイルスに適切に対処しながら、地域の方々により福女大を身近に感じていただけるような活動を進めていきたいと考えておりますので、「大学とこんなことをしてみたい！」といった社会・地域連携に関する相談や提案、「日常生活で生じた疑問」などを当センターまでお気軽にお寄せいただきますようお願いいたします。

副センター長・地域交流部門長
国際文理学部　食・健康学科　准教授
小林　弘司

新しい時代の産学官地域連携のあり方

研究支援部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動を制限される中、主に今年度後半に、大学・研究機関・企業・行政機関との学術交流の推進を目的とした活動を実施しました。10月には科学研究費助成事業の研究成果公開として、小学５・６年生を対象に、‘ひらめき☆ときめきサイエンス’を開催し、本学教員、大学院生らとともにナメクジの解剖実験を行いました。12月には産学官技術交流会を開催し、今後のWithコロナ時代におけるテレワークや在宅勤務の在り方、健康管理について、産・学・官それぞれの立場からご講演いただきました。４月に本学と包括的連携協定を締結した㈱新生堂薬局様にもご登壇いただき、コロナ禍にも関わらず29名の方に参加いただきました。新しい時代の産学官連携のあり方を模索して参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

副センター長・研究支援部門長
国際文理学部　環境科学科　准教授
豊貞　佳奈子

福岡女子大学における女性のための再就職支援プログラム

福岡女子大学では、３つの社会人女性のためのプログラムを実施しています。女性トップリーダー育成研修、学び直しプログラム、そして再就職支援プログラムです。この３つは、再就職、中間管理職、トップをめざす女性というように段階的に構成されています。

再就職支援プログラムは、子育てなどの理由で一旦離職したが、なかなか再就職に踏み出せない、もしくはどう踏み出したらいいのかわからない女性たちが、講義と60時間の有給インターンシップを通して、自己肯定感を涵養し、受講生たちとの仲間意識を育みながら、一歩を踏み出すプログラムです。

今年度12名の受講生たちが、インターンシップを終えて、３月には自分らしい一歩を踏み出すことを願っています。

女性生涯学習研究部門長
国際文理学部　学部共通教育機構　教授
野依　智子

株式会社新生堂薬局との包括的連携協定

締結式：４月16日（木）

福岡女子大学と株式会社新生堂薬局は、それぞれが有する資源、機能等の効果的な活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携・協力し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与することを目的に、令和２年４月16日に包括的連携協定を締結しました。

本学と株式会社新生堂薬局は、これまでにも「健康経営」をテーマにセミナーの開催等を行ってきましたが、本協定を契機に、地域・社会貢献（健康セミナー、イベントの実施）、研究（疫学研究、介入研究）、学生支援（インターンシップ）の分野において様々な形態で連携事業を進めてまいりたいと考えております。

なお、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにて締結式を行いました。

福岡女子大学 理事長兼学長　梶山千里

株式会社新生堂薬局 代表取締役社長兼CEO兼CHO　水田　怜 氏

高校生のためのイングリッシュ・キャンプ

日程：11月22日（日）　　場所：福岡女子大学　講義棟　他

「高校生のためのイングリッシュ・キャンプ」は、参加者の英語コミュニケーション能力強化や異文化理解を目的として、2011年度より、台風で中止となった2018年度を除き毎年実施しています。

今年度参加した女子高校生（１、２年生20名）は、グループに分かれて全て英語で教員・学生へのインタビューやリサーチに取り組むなど、積極的に課題に挑戦しました。最後は大学の施設や寮を見学し、福岡女子大学の雰囲気に触れて頂きました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて少人数・単日（昨年度は１泊２日）での開催でしたが、高校生たちはひとつひとつのプログラムに集中し、楽しみながら英語を学びました。

◀授業風景

発表・閉講式▶

当日運営サポーターとして参加した　地域連携センター学生委員より

当日、準備から片付けまで参加させて頂きました。こういったプログラムに初めて運営側として参加し、非常に新鮮でした。こんな時代で、様々な面に気を配る必要があり、難しさもありましたが、やりがいをもって活動できました。

英語に苦戦しながらも熱心に学ぶ高校生の皆さんを陰ながらサポートする事ができ、良かったです。

井上莉佐（国際教養学科３年生）写真左

イングリッシュ・キャンプに参加した学生が楽しみながら英語でコミュニケーションをとることを見て、素晴らしいと思いました。また、学生委員として参加し、イベント組織に関する様々なことを学びました。

グエン　ホン　フオン
（国際教養学科２年生）写真右

特集

本庶佑先生 ノーベル賞受賞記念講演会「ヒトは幸運な生き物だ」開催

日程：12月3日（木）
場所：アクロス福岡イベントホール（福岡市中央区天神）

本学と九州大学は、ノーベル賞を受賞された方を講師にお招きし、研究に関する業績のみならず、探求心や向上心について受賞者ご自身に語っていただくことで、若者に将来への情熱や人間力に結びつけてもらうことを目的とした講演会を、平成23年度より不定期に開催しています。

５回目となる今回は、2018年にノーベル生理学・医学賞を受賞された本庶佑先生にご講演いただきました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、急遽、京都大学の本庶先生とアクロス福岡を繋いでのオンライン開催となりましたが、高校生・大学生を中心に、定員を上回る方が参加されました。

本庶先生には、幼少期の幸運な体験や研究を続ける中で出会われた恩師・仲間について等、人生における“運”の大切さについてお話しいただきました。また、研究を続けるうえで大切にされている６つのC（curiosity（好奇心）、challenge（挑戦）、courage（勇気）、concentration（集中）、continuation（継続）、confidence（自信））についてもお話しいただき、若者の将来に向けての大きなメッセージとなりました。

講演後の質疑応答では、高校生や大学生の皆さんから多数の質問を受け、本庶先生にはその一つ一つに丁寧にご回答いただき、盛況のうちに講演会を終了しました。

地域交流部門

地域交流部門では、地域との交流を大切にしております。
同時に、地域ニーズの把握に努め、本学の持つ知的資源と
地域ニーズのマッチング等の事業を展開することで、
地域の活性化に寄与してまいります。

地域（香住丘校区）との交流

本学が所在する福岡市東区香住丘校区の様々な事業に本学の学生、教職員が協力しています。

■ 香住っ子ひろば

小学校週５日制の導入をきっかけに、子どもたちの居場所づくりを目的として行われており、本学の学生がボランティア活動の一環として参加しています。毎月土曜日２回、主に香住丘公民館にて実施されています。

三日月山登山

味噌作り

年賀状作り

クリスマス会

■ 夜間合同パトロール

校区の安全安心のため、毎月第３金曜日午後８時から合同パトロールが行われています。例年、本学からも寮生と教職員が参加していますが、令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、教職員のみが参加しました。

パトロール出発前の安全確認の様子▶

■ キャンパスイルミネーション

令和２年11月11日、新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、閉塞感が漂う中で地域の皆様や学生の心に明るい希望の光を灯せるよう、キャンパスイルミネーション点灯式を行いました。点灯の瞬間はメインストリートの桜の木に、淡いピンク色のイルミネーションが輝き、子どもたちからも大きな歓声が上がりました。ご参加いただきました方々に感謝申し上げます。

点灯の瞬間

香住丘校区自治協議会
会長　山中一男様　ご挨拶

子どもたちへのプレゼント

大学に灯るイルミネーション

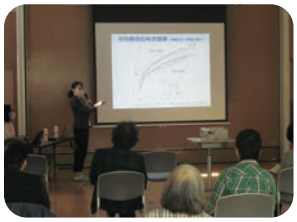
■ ふれあい健康教室

今年度より、本学教員が連携協定企業や共同研究企業にもご協力いただき、香住丘公民館にて健康に関する講座を実施しています。今年度は３回の講座を実施し、季節により気をつけたいこと、日頃の食生活において心掛けていただきたいことなどについて講演しました。今後も地域の皆様の健康づくりにお役立ていただける講座をお届けしていきます。

小林弘司　准教授

大塚製薬株式会社

▲第１回：「夏が来る！食中毒と熱中症にご用心」


南里明子　准教授

株式会社新生堂薬局による
骨密度測定

株式会社博多の味本舗(左)
石川洋哉　教授(右)

産学連携で開発した
赤ちゃんだし「Oiseries」

▲第２回：「食べ物と健康、おいしさの話
～「国産ハーブ」や「だし」を題材に～」

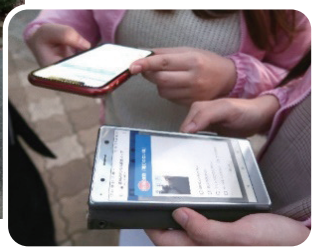
◀第３回：「生活習慣病予防に役立つお話しと健康チェック」

東部地域大学連携

福岡市東区に位置する福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学は、平成23年11月に連携協定を締結し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的に活動を行っています。

■ 地域安全マップ制作

福岡県庁主催の福岡県学生防犯ボランティア連絡会議に参加をし、「デジタル防犯マップ」ツールを使用した地域安全マップの制作を行いました。今回は、福岡工業大学の周辺を巡回しながら、危険個所や気づいた点等をマップに入力していきました。



■ 性犯罪根絶のための動画作成

絵コンテ、シナリオ、カメラワーク、編集等を学生たちで試行錯誤しながら行い、性犯罪根絶を目指した１分間動画を作成しました。完成した作品は、福岡県警主催の「性犯罪ゼロの街 福岡ムービーアワード2020」学生投票部門において、見事、優秀賞を受賞しました。また、この作品を通した広報啓発活動に対して、福岡県東警察署より感謝状をいただきました。

■ 東部地域大学連携　福岡未来創造プラットフォーム 共同開講科目「SDGsを学ぶ」

日程：11月29日(日)　12月１日(火)　12月５日(土)　12月６日(日)
場所：九州産業大学、北九州市（フィールドワーク）

東部地域大学連携の三大学で共同開講科目「SDGsを学ぶ」を開講しました。今年度は、福岡未来創造プラットフォームに参画している大学の学生にも参加を呼びかけ、31名の学生が受講しました。

学生は、講義やフィールドワークを通して、SDGsについての理解を深めると同時に、自身の関心分野を切り口に、他者と連携しながら持続可能な社会やまちづくりの実現のために何ができるかを考えていきました。

【福岡未来創造プラットフォーム】福岡都市圏15の大学・自治体・産業界から構成されるプラットフォーム

講義内容

- 持続可能な開発目標とは
- レゴ®シリアスプレイ®を活用したワークショップ
- SDGs de 地方創生カードゲームを通して私たちの地域における持続可能なまちづくりの施策の展開や影響とSDGsとの関係性についての体験
- 北九州市でのフィールドワーク
- 福岡工業大学の教員による講義
- 福岡女子大学の教員による講義
- まとめ及びグループ発表「各々の大学の学生としてSDGs を推進する取組について研究発表」

担当教員

〈九州産業大学〉　秋山 優 教授　垣迫 裕俊 教授
閒間 理 教授　中世古 貴彦 講師
一ノ瀬 大一 係長
〈福岡工業大学〉　藤井 洋次 教授
〈福岡女子大学〉　ジャヤセーナ・パスマシリ 教授
〈北九州市立大学〉　眞鍋 和博 教授

福岡女子大学 生涯学習カレッジ2020

平成27年度にスタートした生涯学習カレッジはアクティブな学習の場としてキャンパス・学外をフィールドに、受講生と大学が共に学び合うプログラムです。2020年度はテーマを「郷土史と伝承文化～令和の時代とともに～」と掲げ、“感性”を学習の柱とし、学びの中に「遊び心」を取り入れた多彩なプログラムを実施しました。51名の受講生は「学びプラスα」のプログラムにおいて本物の芸術、食文化、歴史に触れ、楽しみながら学んでゆきました。

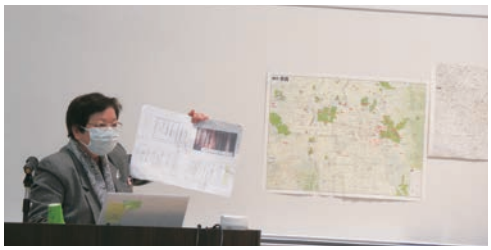
生涯学習カレッジ2020　全プログラム

第１回	「開講式」 「歴史に感性を読む　感性で歴史を読む」
第２回	「福岡はここ名島から始まった―故郷名島の歴史―」
第３回	「宮城道雄の箏曲の世界へのおさそい」
第４回	「伊都国女王と卑弥呼」
第５回	「九州国立博物館と私―夢の実現にむけて―」
第６回	「線虫がん検査N-NOSEの実用化～大学教員から社長へ～」
第７回	「福博中華と福新楼の関わり」
第８回	「出版とドキュメンタリー」
第10回	「博多の祭りと暮らし方」
第11回	「万葉集から読み解く歴史と文化」
第12回	「ろうそく能」
第13回	「修了式」「意見交換会」

※第９回は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

「博多の祭りと暮らし方」

「宮城道雄の箏曲の世界へのおさそい」



「万葉集から読み解く歴史と文化」

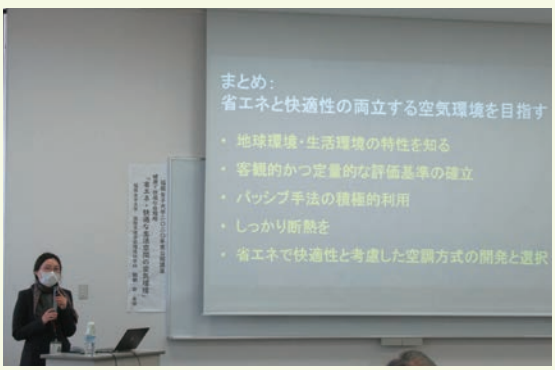
「九州国立博物館と私―夢の実現にむけて―」

「出版とドキュメンタリー」

2020年度公開講座

地域の皆様へ“生涯学習の場“を提供するため、毎年各教員の専門領域を
2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で２講座が中止となりましたが、

■ 健康的で快適な住環境



▲「省エネ・快適な生活空間の空気環境」鄭朱娟助教

省エネを図りながら快適な生活空間を作り出すための知識として、空気の流れや断熱方法などの専門的な内容をお届けしました。

■ 自分メンテナンス！③ ～健康な体を維持するために～

▲「おいしく減塩～うま味の効果を体験しよう～」森田理恵子助手

循環器疾患や脳卒中の危険因子となる高血圧を予防するために、日頃の食生活においておいしさを損なわずに減塩する方法として、うま味の効果を体験しました。受講生からは「今後の食生活に生かします。」との声が多く聞かれました。

「伊都国女王と卑弥呼」　平原遺跡 見学

「線虫がん検査N-NOSEの実用化
～大学教員から社長へ～」

「福博中華と福新楼の関わり」

「伊都国女王と卑弥呼」　糸島市立伊都国歴史博物館 見学

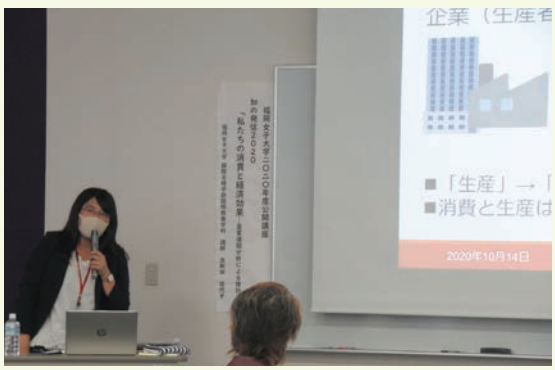
当日運営サポーターとして参加した　地域連携センター学生委員より

実は、生涯学習カレッジの修了式ではじめて司会という役目を担当したのでとても緊張していました。でも、担当の先生の指示と受講生の方々の応援のおかげで司会をよくすることができました。外国人学生が司会をしてくれて本当に嬉しかったと言ってくださった受講生の方の感想を今も忘れないです。本当にありがとうございました。

金載英（食・健康学科１年）写真中央

わかりやすく紹介した講座を実施しております。
「食と健康」「経済」「暮らし」「歴史」をテーマに楽しみながら実生活にも役立てていただける内容をお届けしました。

■ 知の発信2020 ～教養講座　知的好奇心へのいざない～



▲「私たちの消費と経済効果―産業連関分析による推計―」
白新田佳代子講師

日頃、ニュースなどでよく耳にする経済に関する用語や消費と生産からなる経済の仕組みについて詳しく解説し、経済効果をどのように試算するかを事例を踏まえてわかりやすくご紹介しました。

▲「八幡宮からみる九州中世史」
渡邉　俊准教授

馴染みの深い八幡宮について、その歴史や担っていた役割について解説しました。八幡神をお祀りしているだけではなかった一面を知り、受講生からは「改めて八幡宮を訪れてみたい。」との声が聞かれました。

出前講義等

近隣の中学校や高校を中心に、本学の教員が高校にお伺いする出前講義や、中学校の職場体験学習受入等を実施しています。

1．出前講義

※同じ開催日・学校でも、受講生が異なる場合は、開講回数に応じて記載しています。

No.	開催日	学校名	学年	人数	教員名	内容
1	7月　2日 (木)	福岡県立朝倉高等学校	2	58	和栗　百恵 准教授	「世界と出逢う」ということ
2	9月 25日 (金)	福岡県立春日高等学校	2	22	小林　弘司 准教授	食品の安全・安心
3	9月 25日 (金)	福岡県立春日高等学校	2	23	長岡　真吾 教授	文化を「翻訳」する
4	10月　9日 (金)	九州国際大学付属高等学校	1・2	16	奥村　文彦 准教授	細胞内の掃除と病気
5	10月 16日 (金)	福岡県立門司学園高等学校	1・2	20	和栗　百恵 准教授	「世界と出逢う」ということ
6	10月 16日 (金)	福岡県立門司学園高等学校	1・2	19	和栗　百恵 准教授	「世界と出逢う」ということ
7	10月 16日 (金)	福岡県立新宮高等学校	2	9	長岡　真吾 教授	異文化がぶつかるところ
8	10月 16日 (金)	福岡県立新宮高等学校	2	11	長岡　真吾 教授	異文化がぶつかるところ
9	10月 16日 (金)	福岡県立新宮高等学校	2	7	小林　弘司 准教授	食品の安全・安心
10	10月 16日 (金)	福岡県立新宮高等学校	2	14	小林　弘司 准教授	食品の安全・安心
11	10月 24日 (土)	筑紫台高等学校	2	54	ｼﾞｬﾔｾｰﾅ ﾊﾟｽﾏｼﾘ 教授	グローバル時代の「豊かさ」を考える―日本と世界
12	10月 29日 (木)	福岡県立嘉穂高等学校	2	9	奥村　文彦 准教授	細胞内の掃除と病気
13	10月 29日 (木)	福岡県立嘉穂高等学校	2	20	馬　昌珍 教授	地球は大丈夫か？
14	10月 30日 (金)	長崎県立長崎南高等学校（オンライン実施）	1・2	47	庄山　茂子 教授	「環境デザイン学に関する研究紹介」
15	11月 11日 (水)	福岡県立伝習館高等学校	2	16	ｼﾞｬﾔｾｰﾅ ﾊﾟｽﾏｼﾘ 教授	国際社会における日本の役割
16	11月 11日 (水)	福岡県立伝習館高等学校	2	13	ｼﾞｬﾔｾｰﾅ ﾊﾟｽﾏｼﾘ 教授	国際社会における日本の役割
17	11月 14日 (土)	久留米信愛高等学校	2	20	渡邉　俊 准教授	蒙古襲来と博多
18	11月 16日 (月)	筑紫女学園高等学校	1・2	67	山根　健至 准教授	東アジアの現在
19	11月 30日 (月)	九州国際大学付属高等学校	1・2	24	ｼﾞｬﾔｾｰﾅ ﾊﾟｽﾏｼﾘ 教授	「豊かさ」ってなんだろう？―グローバル時代の開発と日本の役割を考える―
20	12月 21日 (月)	福岡県立小倉南高等学校	1	46	和栗　百恵 准教授	「世界と出逢う」ということ
21	3月 16日 (火)	福岡県立光陵高等学校	2	12	辻　信一 教授	クイズで学ぶ食の安全
22	3月 16日 (火)	福岡工業大学附属城東高等学校	2	7	猪股　伸幸 准教授	DNA生活から読み解く野生生物の過去・現在

2．スーパーサイエンスハイスクール（SSH）　福岡県立香住丘高等学校　数理コミュニケーションクラス2年生

◆ 環境科学研究講座　（会場：福岡女子大学　研究棟）

	開催日	教員名	内容
1	9月　2日 (水)	松尾　亮太 教授	ナメクジが示す光忌避行動の神経メカニズム
2	9月　2日 (水)	池田　宜弘 教授	界面活性剤の性質
3	9月　9日 (水)	弓削　昌弘 准教授	カエルと生物学
4	9月　9日 (水)	馬　昌珍 教授	実験でわかったPM2.5の実態

◆ 委員会等　（会場：福岡県立香住丘高等学校）

	開催日	教員名	内容
1	7月 22日 (水)	梶山　千里 学長・松尾　亮太 教授	福岡県立香住丘高等学校スーパーサイエンススクール　生徒課題研究発表会
2	12月 18日 (金)	松尾　亮太 教授	運営指導委員会

教員免許状更新講習

教員免許更新制の免許状更新講習として、文部科学大臣の認定を受けて「選択必修領域」と「選択領域」の２科目（国語、理科等）について、次のとおり開設しました。（受講者数：延べ95名）

1．選択必修　時間数：６時間　実施場所：地域連携センターセミナー室

	開催日	タイトル	内容
1	8月 27日 (木)	あらゆる教育活動に活かす教育相談的態度のワークショップ（教育相談）	鈴木　有美 教授
2	8月 28日 (金)	考え、議論する道徳科授業を構想するワークショップ（道徳）	森　邦昭 教授

2．国語　時間数：６時間　実施場所：地域連携センターセミナー室

	開催日	タイトル	担当講師
1	8月 24日 (月)	「国語」教材の講読と分析（1）	大久保　順子教授
2	8月 25日 (火)	「国語」教材の講読と分析（2）	坂本　浩一教授・九州産業大学 教育研究施設　森　誠子准教授

3．理科等　時間数：６時間　実施場所：研究棟・講義棟

	開催日	タイトル	担当講師
1	8月 25日 (火)	実践で学ぶ最新の生命科学・物質科学（1）界面活性剤の界面分子膜	池田　宜弘教授・山口　容子助手
2	8月 26日 (水)	実践で学ぶ最新の生命科学・物質科学（2）目に見えない生物の多様性を考える	瀧下　清貴教授・大坪　繭子助手
3	8月 27日 (木)	実践で学ぶ最新の生命科学・物質科学（3）ナメクジを使った神経科学	松尾　亮太教授・美濃部　純子助手

12/21　小倉南高校　出前講義の様子
講師：和栗百恵 准教授

教員免許状更新講習「あらゆる教育活動に活かす教育相談的態度のワークショップ」　鈴木有美 教授

教員免許状更新講習「実践で学ぶ最新の生命科学・物質科学⑶ナメクジを使った神経科学」　松尾亮太教授

研究支援部門

研究支援部門では、大学の知的資源を活用し、
地域社会の発展に貢献するため、企業や公的機関との
共同研究のサポートや、各種セミナー、技術交流会などを
実施し、産学官の連携を推進します。

■ ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ ～KAKENHI

日　程：10月４日（日）　10月11日（日）　　参加者：10月４日：13名　10月11日：14名

2020年度科学研究費助成事業 研究成果公開促進費「ひらめき☆ときめきサイエンス」に採択され、小学５年生・６年生を対象に、「ナメクジは賢い！～ナメクジの学習行動と脳のしくみ～」を開催しました。

プログラムでは、担当の松尾亮太教授（国際文理学部　環境科学科）からナメクジの脳の働きや特徴について学び、先生方や大学院生、大学生のサポートのもと、ナメクジの学習行動実験や解剖を行いました。

本プログラムはこれまで小学校の夏休み期間中に隔年で実施してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、10月に実施することとなりました。次回は夏休みに開催できることを願い、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

■ 外部資金獲得セミナー

「研究計画調書作成への取り組みと対策」

参加者 教職員 20名

日　時：９月24日（木）　　場　所：福岡女子大学 C302
講　師：九州工業大学　オープンイノベーション推進機構　産学官連携本部
　　国際・研究推進部門マネージャ　准教授　安藤　義人 氏

九州工業大学の研究資金の獲得、研究プロジェクトの企画・立案、業務支援提供、国際連携等の活動にご尽力されていらっしゃる安藤義人氏をお招きし、不採択となった研究計画調書の事例を交えながら、採択に繋がる作成ポイントを丁寧にご教示いただきました。

■ 第18回福岡女子大学産学官技術交流会

「テレワークや在宅勤務の在り方と健康管理」

参加者 29名

日　時：12月22日（火）　　場　所：福岡女子大学　セミナー２
共　催：九州歯科大学　福岡県立大学

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、これまでの日常が多く変化しました。
今後のWithコロナ時代におけるテレワークや在宅勤務の在り方、健康管理について、産・学・官それぞれの立場からお話しいただきました。

会場の様子

講演1「テレワークなんてできるわけない」
　宗像市役所　総務部　人事課　人事係長　椎葉　寛 氏
講演2「テレワークで高まる健康経営」
　株式会社新生堂薬局　代表取締役社長兼CEO兼CHO　水田　怜 氏
講演3「Withコロナ時代の健康保持・増進」
　福岡女子大学　国際文理学部　食・健康学科　太田　雅規 教授
講演4 登壇者によるディスカッション

椎葉氏

水田氏

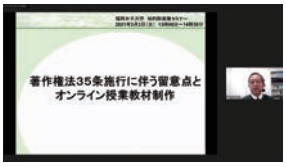
太田教授

■ 知的財産権セミナー

「著作権法35条施行に伴う留意点とオンライン授業教材制作」

日　時：３月３日（水）　13:00～14:30
場　所：オンライン（Zoom）　参加者：教職員46名
講　師：帝京大学 共通教育センター センター長　教授
　　山口大学 知的財産センター 特命教授　木村　友久 氏

著作権法の基礎知識や2020年４月28日に施行された改正著作権法第35条について、具体的な事例を交えながら、補償金制度や運用指針について分かりやすく丁寧にご教示いただきました。また、オンライン授業の教材制作にあたり注意点等をお話いただきました。



■ 令和２年度共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況

令和３年３月25日時点

種　別	件数	金　額
共同研究	9	100,000
受託研究	1	218,000
寄附金　※研究助成含む	12	6,850,000
科学研究費助成事業(日本学術振興会)研究代表者分	32	40,040,000
科学研究費助成事業(日本学術振興会)研究分担者分	22	5,831,251
「女性リーダー養成事業補助金」(福岡県)	1	2,678,000
女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業(文部科学省)	1	4,489,578
「大学における文化芸術推進事業」(文化庁)	1	8,600,000
計	79	68,806,829

女性生涯学習研究部門

女性生涯学習研究部門では、本学の基本理念である「次代の女性リーダーを育成」を基に、社会人女性を対象とした研修プログラムの実施など、女性のさまざまなライフステージでの活躍を支援する事業に取り組んでいます。

福岡女子大学女性トップリーダー育成研修

女性トップリーダー育成研修は、女性管理職や将来の女性幹部候補者を対象に、トップリーダーとして成長するための志や感性（創造性、人間性、倫理性、哲学）、教養、行動を身につける、技術論の一歩先にある「心構え」を重視した研修です。

産学官の第一線で活躍するトップまたはその経験者による講義と対話を行い、受講生の志や感性を啓発し、教養を磨きます。

また、様々な職種･業種の受講生が集まることにより、悩みや課題を共有し、ネットワークを構築できる機会となっています。

2020年度福岡女子大学女性トップリーダー育成研修

第1回　2020年11月19日（木）～21日（土）
２泊３日宿泊研修　ヒルトン福岡

第2回　2021年１月21日（木）
日帰りフォローアップ研修　オンライン（zoom）

※講師、内容は右ページ研修プログラム表の通り

福岡女子大学　理事長兼学長
梶山　千里

三井住友海上火災保険㈱
顧問　佐村　知子 氏

篠原公認会計士事務所グループ
代表　篠原　俊 氏

九州旅客鉄道㈱
特別顧問　石原　進 氏

産学官トップリーダーとの
意見交換会・交流会

㈱REKIDS
代表取締役　行正　り香 氏

あやべクリニック
ゼネラルマネージャー
綾部　純子　氏

西日本新聞社
北九州本社副代表兼営業部長
甲木　正子　氏

JR九州リテール㈱
取締役常務執行役員
鐘ヶ江　理恵　氏

㈱インターナショナル エア アカデミー
代表取締役会長　永江　靜加　氏

グループワーク

フォローアップ研修

修了式

◆研修プログラム

第１回（宿泊研修）

日　程	内　容	講　師
2020年 11月19日 (木)	開講式	福岡県人づくり･県民生活部 私学振興･青少年育成局　局長　今泉　直人
	産学官のトップリーダーの講義と対話 「福女大のトップリーダー研修で何を学ぶ ―「リーダー」と「トップリーダー」の２つがあることを 理解して欲しい→自分自身で理解する学びに挑戦―」	福岡女子大学　理事長兼学長　梶山　千里
	産学官のトップリーダーの講義と対話 「トップリーダーを目指す皆さんに」	元内閣官房まち･ひと･しごと創生本部事務局 地方創生総括官補 三井住友海上火災保険㈱　顧問　佐村　知子
	目標設定、グループワーク	ウィル･システムズ　代表　高山　有朋
	受講生同士の交流会	1期生（H28年度）～４期生（R1年度）受講生参加
2020年 11月20日 (金)	「会計倫理の視座」	篠原公認会計士事務所グループ　代表　篠原　俊
	産学官のトップリーダーの講義と対話 「2030年ビジョン」	九州旅客鉄道㈱　特別顧問 前NHK経営委員長　石原　進
	グループワーク	ウィル･システムズ　代表　高山　有朋
	産学官トップリーダーとの意見交換会･交流会	九州旅客鉄道㈱　特別顧問　石原　進 前福岡県副知事　海老井　悦子 福岡女子大学　理事長兼学長　梶山　千里 西日本新聞社 北九州本社副代表兼営業部長　甲木　正子 ㈱西部技研　代表取締役社長　隈　扶三郎 篠原公認会計士事務所グループ　代表　篠原　俊 ㈱インターナショナル エア アカデミー 代表取締役会長　永江　靜加 福岡商工会議所　会頭　藤永　憲一 ㈱やずや　代表取締役会長　矢頭　美世子 ㈱REKIDS　代表取締役　行正　り香
2020年 11月21日 (土)	「感性ディベロプメント ―どのように感性を磨き、 未来の仕事や暮らしにつなげていくか―」	㈱REKIDS　代表取締役　行正　り香
	ロールモデルによるトークセッション コミュニケーションランチ	あやべクリニック　ゼネラルマネージャー 国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン ガバナー　綾部　純子 西日本新聞社 北九州本社副代表兼営業部長　甲木　正子 JR九州リテール㈱ 取締役常務執行役員　鐘ヶ江　理恵 福岡女子大学　国際文理学部 教授　野依　智子（コーディネーター）
	グループワーク	ウィル･システムズ　代表　高山　有朋

第２回　フォローアップ研修

日　程	内　容	講　師
2021年 1月21日 (木)	「魅力ある女性リーダーとは」	㈱インターナショナル エア アカデミー 代表取締役会長　永江　靜加
	修了生ネットワークのご案内	あやべクリニック　ゼネラルマネージャー 国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン ガバナー　綾部　純子
	グループワーク、自己宣誓	ウィル･システムズ　代表　高山　有朋
	講評、修了式	福岡女子大学　理事長兼学長　梶山　千里

仕事復帰・再就職を考えている女性をサポート

女性のためのウェルカムバック支援プログラム

開講期間：2020年10月～2021年３月

文部科学省
職業実践力育成
プログラム（BP）
認定講座

「女性のためのウェルカムバック支援プログラム」は、社会人(女性)向けの教育→ドラフト→インターン→職場復帰というモデル体系に沿ったプログラムです。受講生の皆さんは、約６か月間に渡って20回の対面・オンライン授業(計67.5時間)を受け、福女大ウェルカムバックドラフト会議、インターンシップを経て、３月11日の修了式に臨みました。それぞれのスタートライン、終点が違っても開講当時の様々な「不安」から、修了後の「挑戦したい」「前向きに考えたい」へ変化・成長しました。

プログラム特色

- ☑ インターンシップ期間中、修了後も続くサポート！
- ☑ 仲間と一緒に踏み出す！
- ☑ オンライン学習・欠席時個別サポート・学内 PC 利用・無料託児など充実したサポート体制！

受講生1	
年齢	40代
最終学歴	高等学校
インターン先	IT企業
インターン後	就職活動中
雇用形態	－

受講生2	
年齢	30代
最終学歴	大学
インターン先	その他サービス
インターン後	通信販売会社入社
雇用形態	正社員

受講生3	
年齢	40代
最終学歴	短期大学
インターン先	製造業/小売業
インターン後	同社継続検討中
雇用形態	パートタイム

受講生4	
年齢	40代
最終学歴	大学（海外）
インターン先	その他サービス
インターン後	同社継続検討中
雇用形態	業務委託

受講生5	
年齢	30代
最終学歴	大学
インターン先	専門技術サービス
インターン後	同社継続検討中
雇用形態	パートタイム

受講生6	
年齢	30代
最終学歴	大学
インターン先	不動産業
インターン後	同社継続
雇用形態	正社員

受講生7	
年齢	40代
最終学歴	大学
インターン先	建設業
インターン後	同社継続検討中
雇用形態	パートタイム

受講生8	
年齢	40代
最終学歴	高等学校
インターン先	専門技術サービス
インターン後	同社継続検討中
雇用形態	パートタイム

受講生9	
年齢	40代
最終学歴	大学
インターン先	製造業/小売業
インターン後	就職活動中
雇用形態	－

受講生10	
年齢	30代
最終学歴	専門学校
インターン先	IT企業
インターン後	同社継続
雇用形態	パートタイム

受講生11	
年齢	30代
最終学歴	大学（海外）
インターン先	その他サービス
インターン後	就職活動中
雇用形態	－

受講生12	
年齢	40代
最終学歴	大学
インターン先	専門技術サービス
インターン後	同社継続検討中
雇用形態	パートタイム

お問合せ

地域連携センター　女性再就職支援プログラム事業係

☎092-692-3198(直通)　✉manabi@fwu.ac.jp

【受付時間】平日 9:00 ～ 17:00

福岡女子大学　再就職支援　検索

福岡女子大学基金 学術研究助成金

福岡女子大学では、福岡女子大学学生・卒業生による研究に対し、1件5万円の学術研究助成金を交付しています（公募枠）。
また、修士・博士課程2年生で、各コース、各領域の推薦を受けた学生に対しても、1件3万円（各コース、各領域1名）の助成金を交付しています（推薦枠）。

2020年度の交付について

◆ **公募枠学術研究助成金**　2件の申請がありましたが、審査選考の結果、採択には至りませんでした。

◆ **推薦枠学術研究助成金**　各専攻から次の6件の推薦があり、審査の結果、これらの研究に対し助成金を交付しました。
（人間環境科学研究科人間環境科学専攻博士前期　環境マネジメント領域は在籍者なしのため交付はありません。）

- **友松　香菜**（人文社会科学研究科 言語文化専攻博士前期課程　日本言語文化コース）「JSL 生徒のための文章読解力向上－説明的文章を読む際のストラテジー－」
- **泉　百合子**（人文社会科学研究科 言語文化専攻博士前期課程　英語圏言語文化コース）「「少年キム」のキムに潜む闇」
- **黄　晶晶**（人文社会科学研究科 社会科学専攻博士前期課程　国際産業社会コース）「日中における次世代自動車産業の発展－トヨタと上海汽車についての考察－」
- **傅　倩**（人文社会科学研究科　社会科学専攻博士前期課程　国際関係コース）「新疆における少数民族・双語教育の現状と課題－ウイグル族の言語と宗教を核とした民族伝統文化継承－」
- **宮本　紗由里**（人間環境科学研究科　人間環境科学専攻　環境自然科学領域）「吸着相図による固体吸着剤の吸着特性の解明」
- **宮崎　真緒**（人間環境科学研究科　人間環境科学専攻　栄養健康科学領域）「におい嗅ぎGCMSシステム及び高速GC型電子嗅覚システムを用いた、食品成分の香り・においの劣化挙動の解析と各種抗酸化物の相乗効果を活用したその制御に関する研究」

2020年度 公開講座・講演会等 開催一覧

2020年4月1日～2021年3月31日に地域連携センター事業として開催した講座・講演会・研修等についてご報告します。

事業名称	講演概要			講座数	延べ受講者数
公開講座	2020年度公開講座(全6回)				
	A．健康的で快適な住環境			2	
	①　5月27日（水）健康的な光環境とは	小崎　智照	福岡女子大学准教授		中止
	②　12月16日（水）省エネ・快適な生活空間の空気環境	鄭　朱娟	福岡女子大学助教		8
	B．自分メンテナンス！③～健康な体を維持するために～			2	
	③　6月25日（木）体内の掃除と病気	奥村　文彦	福岡女子大学准教授		中止
	④　9月16日（水）おいしく減塩～うま味の効果を体験しよう～	森田　理恵子	福岡女子大学助手		19
	C．知の発信2020 ～教養講座　知的好奇心へのいざない～			2	
	⑤　10月14日（水）私たちの消費と経済効果―産業連関分析による推計―	白新田　佳代子	福岡女子大学講師		14
	⑥　2月　8日（月）八幡宮からみる九州中世史	渡邉　俊	福岡女子大学准教授		20
生涯学習カレッジ	「生涯学習カレッジ2020　テーマ：郷土史と伝承文化～令和の時代とともに～」（全13回）			13	516
	第1回　7月　4日（土）開講式	梶山　千里	福岡女子大学理事長・学長		
	「歴史に感性を読む、感性で歴史を読む」	渡邉　俊	福岡女子大学准教授		
	第2回　7月18日（土）福岡はここ名島から始まった―故郷名島の歴史―	安部　光征	東区歴史ガイドボランティア連絡会		
	第3回　8月29日（土）宮城道雄の箏曲の世界へのおさそい	渡辺　シズ	箏曲宮城会九州支部長		
	第4回　9月　5日（土）伊都国女王と卑弥呼	江崎　靖隆	糸島市立伊都国歴史博物館　学芸員		
	第5回　9月26日（土）九州国立博物館と私―夢の実現にむけて―	島谷　弘幸	九州国立博物館長		
	第6回　10月17日（土）線虫がん検査N-NOSEの実用化～大学教員から社長へ～	広津　崇亮	株式会社HIROTSUバイオサイエンス　代表取締役		
	第7回　10月24日（土）福博中華と福新楼の関わり	張　光陽	株式会社福新楼　代表取締役社長		
		王　和雄	株式会社福新楼　料理顧問		
	第8回　11月　3日（火）出版とドキュメンタリー	馬場　明子	ノンフィクション作家		
		福元　満治	図書出版石風社　代表 ペシャワール会事務局広報担当理事(前事務局長)		
	第9回　11月10日（火）沖縄のうたとこころ（九州市民大学）［中止］	古謝　美佐子	沖縄民謡歌手		
	第10回　11月21日（土）博多の祭りと暮らし方	長谷川　法世	「博多町家」ふるさと館　館長		
	第11回　12月　5日（土）万葉集から読み解く歴史と文化	月野　文子	福岡女子大学　名誉教授		
	第12回　12月　7日（月）ろうそく能　狂言　「因幡堂」	野村　万禄			
	能　「藤戸」	鷹尾　章弘			
	第13回　12月12日（土）修了式　意見交換会	梶山　千里	福岡女子大学理事長・学長		
交流会	第18回福岡女子大学産学官技術交流会「テレワークや在宅勤務の在り方と健康管理」　主催：福岡女子大学			1	29
	12月22日（火）				
	◇講演1　「テレワークなんてできるわけない」	椎葉　寛	宗像市役所　総務部　人事課　人事係長		
	◇講演2　「テレワークで高まる健康経営」	水田　怜	株式会社新生堂薬局　代表取締役社長 兼 CEO 兼 CHO		
	◇講演3　「Withコロナ時代の健康保持・増進」	太田　雅規	福岡女子大学教授		
	◇講演4　パネルディスカッション　コーディネーター	石川　洋哉	福岡女子大学地域連携センター長		
講演会	本庶佑先生　ノーベル賞受賞記念講演会			1	794
	12月　3日（木）「ヒトは幸運な生き物だ」	本庶　佑	京都大学高等研究院　副院長／特別教授		
研修ほか	女性のためのウェルカムバック支援プログラム（全18回）			18	244
	10月15日(木)～3月11日(木)　講師	岸　智子	福岡女子大学女性リーダー育成プログラム　コーディネーター		
		木村　千歳	研修講師、コーチ		
		西島　昇子	キャリアアドバイザー（育成・教育・接遇）		
		平山　猛	株式会社トライローグ　代表取締役		
		田中　彩	NPO法人ママワーク研究所　理事長		
		中山　淳子	NPO法人ママワーク研究所　理事		
		森脇　淳子	ウィズキャリア代表		
		藤重　知子	ボイスエアー　代表		
		綾野　由紀美	With styling ayano代表		
	外部資金獲得セミナー「研究計画書調書作成への取り組みと対策」			1	20
	9月24日（木）	安藤　義人	九州工業大学准教授		
	2020年度女性トップリーダー育成研修			1	17
	第1回宿泊研修　11月19日(木)～11月21日(土)　第2回フォローアップ研修　1月21日(木)				
	知的財産権セミナー「著作権法35条施行に伴う留意点とオンライン授業教材制作」			1	46
	3月3日（水）	木村　友久	帝京大学　共通教育センター　センター長　教授 山口大学　知的財産センター　特命教授		
合　計				42	1727

福岡女子大学2021年度公開講座

【重要】新型コロナウイルス感染症の対策を講じた上で実施いたしますが、感染拡大の状況を踏まえ、受講者の皆様の健康面・安全面を考慮し、講座を延期、または見合わせる場合がございますのでご了承ください。

会場：地域連携センター　セミナー室２及びスポーツキューブ　　**受講料：各回 500 円　※高校生無料**

講座番号	日程	タイトル	概　要	講師
1	5/18（火） 10:00 ～ 11:30	紙おむつのあれこれ	紙おむつは「育児と介護の必需品」とも言われ、身近な日用品の一つとなっています。紙おむつの中身、使い方、課題などについて、できるだけ判りやすく解説いたします。	**吉村　利夫** （環境科学科教授）
2	6/2（水） 10:00 ～ 11:30	健康的な光環境とは	国際ガン研究機関は生体リズムが乱れるシフトワークを「恐らく発がん性がある」と定義している。ヒトの生体リズムは光から最も強く影響を受けることから、ヒトに適した光環境について紹介します。	**小崎　智照** （環境科学科准教授）
3	7/14（水） 10:00 ～ 11:30	体内の掃除と病気	なぜ、癌や認知症などを患うのか？疾患と体内（細胞内）の掃除について紹介します。また、遺伝子組み換え食品を食べても良いのか？に関する情報も提供いたします。	**奥村　文彦** （食・健康学科准教授）
4	9/15（水） 13:00 ～ 14:30	東南アジア経済 ―多様性、発展、コロナ禍の影響―	「リゾート」や「著しい経済発展」といったイメージのある東南アジア。その多様性のダイナミズムを紹介したうえで、この地域の発展の歴史について、日本との関りやコロナ禍の状況も交えて理解を深めます。	**小西　鉄** （国際教養学科准教授）
5	9/24（金） 13:00 ～ 14:30	グローバル時代の「開発」と「豊かさ」を考える ―日本と世界―	「豊かさ」は、ひとつの基準や尺度では測れない主観的なものであり、その人自身の人生観や価値観によって大きく左右される。日本に住む私たちは生活に「豊かさ」を感じているのか？本講座では、いくつかの統計資料を参考にしながら、日本と世界の「開発」と「豊かさ」について考えます。	**ジャヤセーナ　パスマシリ** （国際教養学科教授）
6	10/20（水） 10:30 ～ 12:00	シニア世代の心身の健康と身体活動	この講座では、シニア世代の心身の健康と身体活動の関わりについて概説した後、体育館フロアで身体ほぐしと軽い運動を行います。 <先着 20 名> 65 歳以上で医師から運動を制限されていない方が対象です。＊動きやすい服装でご参加ください。	**長野　真弓** （共通教育機構教授）
7	11/17（水） 10:00 ～ 11:30	はじめてのおもてなし英語	国際的なイベントが多く開催されるようになり、訪日外国人の方と出会う機会も増えてきました。講座では、簡単な英語表現をとおして世界の人々とつながり、喜んでもらえる「おもてなし英語」を体感してみましょう。	**田上　優子** （共通教育機構 AEP 講師）

【備　考】

- 性別・年齢問わず受講できます。
  ※一部講座には年齢制限がございますのでご注意ください。
- 会場は、福岡女子大学　地域連携センターを予定していますが、変更になる場合があります。
- 学内には十分な駐車スペースがございませんので、恐れ入りますが公共交通機関をご利用ください。
- 悪天候等により、講座日時が変更になる場合があります。詳細はお電話等でお問合せいただくか、大学ホームページをご確認ください。
- 受講の際は、マスクの着用・手指の消毒・身体的距離の確保にご協力ください。
- 講師や他の受講生に迷惑となるような行為、講座の進行を妨げるような行為をあった場合、受講をお断りすることがあります。このような場合でも、納入された受講料は返還いたしません。
- 講座中の傷病について、本学として責任を負いかねる場合がありますので、お体の不調や異常を感じた時は受講を見合わせるなど、自己の責任において健康管理に十分ご注意ください。
- 講座中の盗難、通学途中の傷病、その他の事故について、本学は一切責任を負いません。

【申込方法】

- E-mail、Fax、ハガキのいずれかに ①希望講座番号 ②氏名（フリガナ）③住所 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥Fax 番号（Fax でお申込みの方）⑦E-mail アドレスをご記入の上、地域連携センターまでお申込みください。お電話でも受け付けております。
- 受講票は発行しておりません。

センター内託児室にて、託児サービスを行っています。（業者委託／先着5名／無料）
利用をご希望の方は、講座開催日の10日前（土日祝除く）までに、福岡女子大学地域連携センターへお電話ください。
＜委託先＞
㈱テノ・サポート　〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10

お申込み・お問い合わせ

福岡女子大学 地域連携センター　〒813-8529　福岡県福岡市東区香住ヶ丘１－１－１
TEL：092-661-2728（直通）／092-661-2411（代表）　Fax：092-692-3220
E-mail：c-renkei4@fwu.ac.jp　URL：http://www.fwu.ac.jp/collaboration/

★ご提供いただいた個人情報は、公開講座等の実施・運営、地域連携センターからのご案内等に使わせていただき、他の目的には使用いたしません。